

やまとで生きた人々への聞き書き:Time and Place Project

私たちは人々のご経験を聞いて、次世代や後世の人々に伝える活動をしています
【令和6年度大和市民活動推進補助金(めばえ)事業】

第8回ワークショップ

つる舞の里歴史資料館所有8ミリムービー 「1958年へのタイムスリップ」を観る 解説・講師 早川四郎氏

日時:2025年1月26日(日曜日)14時~16時

場所:大和市民活動センター2階 会議室2 (大和市深見西1-2-17)

参加費・資料代:500円 誰でも参加できます

定員:20名(申し込みが定員に満たない場合は当日参加も可)

(申し込みは1月19日までに下記をお願いいたします。)

問い合わせ先:rekishikoboyamato@gmail.com 080-4201-7568(酒井)

1958(昭和33)年8月26日に、高下重平町長の議案提出を受けて、大和町を大和市にすることを町議会が全会一致で決定しました。そこで、役場では1959年2月1日に予定されていた市制施行前の町の景観を映像として残すことにしました。当時の大和町国保直営病院(現大和市立病院)小児科の大和田建二医師は映像制作への造詣が深く、自ら映写機を回して撮影し、市職員早川四郎氏が撮影の補助をしました。大和田医師が個人で所有していた8ミリ映写機で撮影されたそうですが、勤務後や勤務の合間に町を回ったそうです。早川氏は、昭和31年に町役場に入り、以来大和市の発展と共に行政の一員として1990年代末まで働いてこられました。

この映像には、駅舎や道路が整備される以前の様子や農業地帯だった町の様子が映し出されています。今回は早川氏に映像の解説と講義をしていただきます。市民の皆様にもぜひ当時の景観を楽しんでご覧になっていただきたく思います。

なお最後になりましたが、この貴重なCD-Rを貸し出してくださる大和市文化振興課とつる舞の里歴史資料館に深く感謝申し上げます。

**インタビューの技法を日常生活、仕事、調査に生かしたい人を対象に
「はじめてのインタビュー(基本編)」講座も開催しています。**

次回は、第3回12月12日(木曜日)13時半~15時半

今回のインタビュー講座は、これまで第1回「メモを取りながら聞く」第2回「録音機器を使ってみる」をテーマに実施しました。次回12月12日には「文章にまとめてみる」ことがテーマです。文章のまとめ方にこれが正しいという鉄則はありません。インタビューの目的やそれぞれの書き手の個性に合わせて考えてみましょう。

場所:大和市民活動センター1階(会議室1)

参加費・資料代:200円 誰でも参加できます。

事前予約を下記にお願いします。

rekishikoboyamato@gmail.com

または 080-4201-7568(酒井)

